#### ハワイ遠征報告 3月4日(日)-3日目

報告者: HC 白澤

# 3月4日(日) AM ●朝食後、コンベンションセンターでの試合へ! 朝の起床時間は昨日よりも早く、7 時にはホテルのロビーに集合。選手のコンディションは 2 日間の ハワイ滞在で調整することができ、万全となっている。試合会場となるアラモアナコンベンションセンタ - へ歩いて向かう。 女子チームには、昨日の練習に参加してくれた現地の選手 2 名に加え、日本語クラスでも明るい キャラクターで中心となっていた選手が参加、計7名のチームとなる。 男子 GAME-1 〈ビーコル ○ 55-45 × ハワイ〉 序盤は緊張からかターンオーバーやシュートミスが目立て、オフェンスで波に乗ることができない。ま た、ドリブルインを警戒するあまり、3P シュートを高確率で決められてしまう。アメリカのジャッジに戸 惑いながらも、ディフェンスの距離感や手の使い方を修正し、徐々に力を発揮していく。相手の力 強く飛び込んでくるリバウンドに、押し込まれる場面も見られたが、ディフェンスからリバウンドを徹底 し、速攻に持ち込んでいく。 女子 GAME-1 <ビーコル × 36−67 ○ ハワイ A> 相手に 185 cmを超える大きな選手や 170cm を超える選手にインサイドを支配される。アウトサイ ドからきっかけをつかみインサイドにつなぎたいところだが、連携が取れずうまく攻められない。 後半はインサイドを固めてチームでのディフェンスができ始めると少しずつ流れを引き寄せる。しかしな がら、インサイドを支配していたビッグマンがトップからの 3P を連続で決め、プレイの幅を見せつける。 終盤はセットオフェンスから活路を見出し、素晴らしいボールムーブを見せる。アウトサイドでのシュートで反撃を試み るも、成功率は上がらず、万事休す。 男子 GAME-2 <ビーコル ○ 64-41 × ハワイ> 2 試合目となり、硬さも取れた選手たちは、ディフェンスから速い攻めで得点を奪っていく。1 試合目 に与えられた課題にも、積極的にチャレンジしていく。ゾーンとマンツーマンを併用する相手ディフェン スに翻弄されてしまい、要所で 10n1 での失点が目立つようになってしまう。しかし、リバウンドと素 早い攻めで相手を圧倒。怪我の影響や、体力切れも懸念されたが、最後まで歯を食いしばり足を 使ったディフェンスで相手をひきつけず、勝利! しかしながら、そのフィジカルの強さ、体をぶつけたときの審判のジャッジ。新しい刺激や、世界に出て 活躍するためのヒントとなり、バスケに対する視野が広がっている。 女子 GAME-2 〈ビーコル × 27−64 ○ ハワイ B> 1 試合目のインサイド主体のチームから、激しいトラップディフェンスをおこなうチームとなった。序盤はこの対応が遅れ てしまい、相手にイージーなシュートを打たれたり、アウトサイドから 3P を決められたりした。落ち着きを取り戻し、対

処することにエネルギーを使う頃には、試合の大勢が決していた。しかし、個々の課題に対して、柔軟にプレイを変えて自らを成長させていく。とくに、助っ人参加のメンバーとのコミュニケーションを積極的に図り、徐々にお互いの良い部分を発揮することができた。



# 試合終了後に、「3Pコンテスト」を開催!

<予選ラウンド> ※10 本打って、何本入るかを競う

男子2チームより4名を選出 →全体: 1位 濱田眞平(7本)、2位 小原翔馬(6本)

女子3チームより6名を選出 →全体: 1位 小山夏鈴(5本)

<br/>
 <br/>

男子:1位 濱田眞平(1本) vs 女子:1位 小山夏鈴(3/3本)

優勝:B-COR女子 小山夏鈴

#### <女子集合写真>



### <男子集合写真>



### ●昼食/ランチ交流

子ども達のコミュニケーション能力と友達を作る能力は大人のそれをはるかに超える。みんなでテーブルを囲み、笑顔が絶えない。そして、最後にはハグでお別れをする。それぞれに、SNSで繋がりを作って、また会うことを約束していた。こうやっている姿を見ていると、バスケで対戦すること以上に、人生における価値を感じる。





| 16時00分~ | ●ショッピング、夕食  |
|---------|---|
|         | 一度ホテルに帰り荷物を置いたら、普段お世話になっている方や、家族へのお土産を買いにお土産を売っているショ    |
|         | ップへ。それぞれが、相手の顔を思い浮かべながら、しっかりと考えて購入している様子。想像していたよりも素早く終  |
|         | わり、最後のディナーへ。ただ、日本食が食べたくなる人、お肉が食べたい人、お腹すいていない人、それぞれの要望   |
|         | もあり、フードコートにて好きなものを食べることに。最後は、ハーゲンダッツの店舗にてデザートを食べて終了。試合、 |
|         | 移動、買い物と、今日もよく動いて疲労を感じるところでないかと思うが、全員満足そう。               |
| 19時30分  | ●ホテルにてミーティング  |
|         | この遠征を振り返ってみて、どんな成果を得ることができたのか、個々に考えて発表する。女子は全体的に遠征を     |
|         | 人生の糧にすること、男子はプレイの幅を広げていくこと、とそれぞれに特徴が見てとれる。今回はテーマに沿って、そ  |
|         | れぞれが感じたことを発表する形式をとる。                                    |
|         | ※後程 YouTube にて投稿予定としておりますので、お楽しみに!                      |
| 22時30分  | ●解散、就寝  |
| 所感      | 今回の遠征のメインイベントとなる、交流戦を実施。やはり、日本のバスケだけではなく、海外のバスケにも触れ     |
|         | させるべきだと強く感じる。プレイスタイルの違い、ジャッジの基準の違い、自分が抱いていたイメージとの違いな    |
|         | ど、現地に来なければ絶対に知り得ることができないことを、映像ではなく自らの体で直接感じることができるか     |
|         | らである。   |
|         | また、言語や文化などの違い、TV や動画、SNS などを通して知る綺麗な部分と、そうではない部分を、肌身で   |
|         | 感じることができる。これは、思考が柔軟な 15 歳までの子ども達にはより大きな影響を与えることができると確   |
|         | 信する。実際に、彼らの視野は海外にまで向けることができた。いつの日か自らの足で世界を切り開くことになる     |
|         | 彼らにとって、その一歩になったであろう。                                    |
| <最終日>   | AM 買い物、ビーチ散策  |
|         | PM 空港へ移動  |
|         | 14:00 帰国  |

# 随時情報更新中!

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook 、Twitter を随時更新しています!! こちらもご覧ください!